

平和への誓いを新たに 戦後80年

午前の部 【日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の紹介】

日本被団協は、47都道府県のそれぞれにある被爆者(広島・長崎で原爆の被害を受けた被害者の生存者)の団体の協議会で、被爆者の唯一の全国組織です。内部に中央相談所をもっています。

日本被団協の目的および活動内容

核兵器廃絶と原爆被害への国家補償要求

日本政府、国連、諸国政府への要請行動

核兵器の廃棄、撤去、核兵器廃絶国際条約の締結、国際会議の開催、非核法の制定、原爆被爆者援護法の国家補償の法律への改正、被爆者対策の充実など
被爆の実相の国内外への普及活動

原爆被害の調査・研究、出版、展示、集会、代表派遣

被爆者の相談・援護活動

2024年10月11日、ノーベル平和賞を受賞されました。



被爆マリア像

午後の部 【高校生平和大使の紹介】

核の惨禍を知る被爆地ヒロシマ・ナガサキの声を世界に伝えるために、未来を担う若者を「高校生平和大使」として国連に派遣しようと、1998年に活動がスタートしました。また、2001年、高校生平和大使募集をきっかけに集まった高校生たちは、核兵器絶をめざす活動を自分たちの力でと考え、「高校生1万人署名活動」のとりくみを始めました。長崎で始まったこのとりくみは全国に広がりました。

国連では、全国で集めた署名を届けたり、軍縮会議の傍聴やスピーチなどを行ったり、世界からも注目をされ活動を行っています。2018年からは、ノーベル平和賞に推薦され「ヒロシマ・ナガサキピースメッセンジャー」として認知されています。

※福岡では2008年(第11代)から選出し、天神や小倉・久留米で署名活動などを行っています。



作者 小松芳子
作品「翔」

北九州平和資料館TICO PLACE

展示企画 一階講堂などを会場に展示いたします

浦上教会 被爆マリア像(レプリカ)

スペインのゲルニカに寄贈されたレプリカと共に作製されたものを展示いたします。

「歴史に学び、平和な未来を」正義と平和協議会による展示企画

※資料提供 北九州平和資料館 TICO PLACE

悲しい戦争を繰り返さないために。なぜ過去に大きな世界大戦が起きたのか。そしてなぜ、今も戦争が起きるのか。それを学んで、戦争が繰り返さないように、自分たちが出来ることを探しましょう。 平和な未来につなげるために。

絵、俳句、川柳、短歌、小教区単位での制作物

※今年も教区の皆さまより募集いたします。奮ってご応募ください。

日本被団協パネル展

【皆さまへのお願い】

- ① 絵、俳句、川柳、短歌、小教区単位での制作物を募集いたします。特に絵につきましては教会学校の子どもたちの作品の応募をお待ちしております。

※応募作品すべてを当日展示いたします。絵と小教区単位での制作物以外は返却いたしませんのでご了承ください。

- ② 各小教区で、8月10日主日ミサで小教区の平和祈願ミサを実施ください。

【作品募集期間と応募方法】

- ① 絵、俳句、川柳、短歌、小教区単位での制作物の作品は、7月31日(木)締切
- ② 応募方法: 郵送及びEメールで受付(必ずお名前、小教区名、連絡先を記載)
・郵送の場合は教区本部事務局へ送ってください。

〒810-0028 福岡市中央区浄水通6-28

宛名: 教区本部事務局「平和を祈る集い 作品受付窓口」宛とお書きください。

・Eメールの場合は教区広報室アドレスへ送ってください。

広報室メールアドレス: cdf-kouhou@nifty.com 送信時件名: 「平和を祈る集い 作品応募」とお書きください。

主催: カトリック福岡教区
共催: 社会福音ネットワーク・福岡

会場: 【福岡教区司教座聖堂】
福岡カテドラル・センター カトリック大名町教会 〒810-0041福岡市中央区大名2丁目7番7号